

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

新年を祝う会 を終えて

恒例となりました新年を祝う会は、今年も八十余名の御出席で賑やかに終了いたしました。

御出席の御来賓のびっくりするようなお話もありまして、今年の門出もなかなか引き締まった雰囲気が始まりました。舞台の隅には御祝儀の酒瓶が立ち並び、それがあれよあれよというまに空っぽになり、流石お正月だなと感じた次第です。それぞれ胸に名札をつけての出席ですからコミュニケーションも充分でした。

全国一の鎌田さんのお祝い歌から始まり、かくし芸、カラオケ等々、時間のたつのも忘れるほどでした。どうぞ来年は、今年にも増した大勢の方々の御参会をお願いいたします。

最後に、種々お手伝いいただきました方々に厚く御礼を申し上げます。御報告いたします。

大代コミュニティ

推進部長 内ヶ崎勝夫

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
被災地に
思い馳せて

連日連夜続く兵庫県南部地震（阪神大震災）の報道、宮城県沖地震を体験している私達には、ひとごとではないとテレビに釘づけにされる毎日だった。建物の下敷になり痛ましい犠牲とな

った人々、家を焼かれ肉親を失くした家族などを思うと胸がつまりそうになりテレビを消したこともあった。

戦後史上最大の悲劇と損失を残した災害の教訓を無駄にしてはならないと思った。国、各自治体そして個人、一人ひとりが身を守ることにによって被害も最小限に食い止めることができるのではないだろうか。

国境を越え続々と入国するボランティア、そして援護物資。国内でも各団体、会社関係から個人にいたるまで心温まる義援が行われている。

神戸市内の病院では医療器具も破損し、自分も被災しながら不眠不休の医療を続けてる人達もいた。困った時はお互い相手を思いやり、助け合うという人情希薄な昨今です。子供達にボランティア精神を教えるよい機会ではないだろうか。

私も孫達にこの事実を伝え、ささやかではあるが三年間温めた貯金箱と子供の小遣いを合わせ募金しようと思っ
ています。色々の機会に募金なされて
いる方もいると思いますが、今ある幸
せを噛みしめながら被災地の方々に大
代区民の真心を贈ろうではありません
か。皆様の御協力をお願いしたいと思
います。このことも今私に出来るボラ
ンティアと信じています。募金の方法
は身近な公民館の募金箱、郵便局の窓
口、生協等にも募金箱があると思いま
すのでよろしく願います。

大代南 星 繁子

阪神大震災に思う

この度の阪神大震災で亡くなられた方に衷心より哀悼の意を表します。

思えば五十年前の昭和二十年六月末私は司令を後席に乗せて、四国徳島から淀川を上り比叡山を越えて、琵琶湖畔の大津航空隊に飛んだのだった。その時の惨状は筆舌に尽くしがたい。飛び上がった直ぐ徳島市街は赤茶けた色、一区画に一つ位コンクリートの建物が残っているだけ、対岸の和歌山も同じ、そして大阪市も外回りだけが残って中心はずっかり焼け落ちていた。西北西に神戸が黒煙を上げて燃えていた。しかし、史実にあるように京都は全然無疵と見受けられた。ついでに大阪湾には何十隻の汽船が沈んでいたのが何とも残念だった。

あの当時私は三男坊で何のしがらみもなく、十九年の熊野灘地震の時津波が来るぞというので、自分の物といえど財布だけなので、それを持って潮岬に上ったのだったが、今はそうはいかない。孫九人に親戚縁者、友人、近所の人、それらを考えれば財布一つというわけにはいかない。自分の足腰も、あの当時と同じではない。

災難は忘れた頃にやってくるというから、心の準備は充分しておかなければと思う。とは言っても、毎日毎日びくびくしてもおられない。適当に忘れずともよいのかとも思う。勿論、準備は充分しての話だけれども。ある人は四

年に一度の地震だと言ってはいたが、明日が丁度四年目に当たっていたらどうしよう。

何はともあれ今度の災害では、隣近所仲良しであることが非常に重要だったことだと思ふ。隣の家族が何人だったかわからなければ助けようがないではないか。常日頃のコミュニケーションが如何に大切かを痛感させられた災害だったと思う。私達の傍に沢山のアパートが建ち、知らない人達が一杯入ってきた。この人達にお願いしたいことは、地区の行事に積極的に参加してもらい、地域住民に一刻も早く溶け込んでいただきたい。これが今度の災害の教訓として一番大切なことだと思ふ。

大代南 跡辺三夫

サザンカ



御祝儀 お見舞いは 三千元を限度にお返し物はしないようお互い気を配りましょう

成人式を

「迎え入れられた皆様へ」

新しく成人とられた皆さん、おめでとございます。

名実ともに次代の担い手として、また有権者として、清く正しい一票を投票する義務と権利を得たことにより、皆様一人ひとりの一票が日本の政治を新しい方向に変えていくわけですので、皆様にはどうぞ選挙の意味を理解され、投票の時には棄権することなく責任を果たされますようお願い申し上げます。洋々たる前途の多幸をお祈りしお祝いの言葉といたします。

多賀城市明るい選挙推進協議会
大代地区第八部会

支部長 鈴木文六 推進員一同

平成七年交通安全

年間スローガン

「運転者（同乗者含む）に対するもの」
ねえ、かあさん ここはとめてもいいところ？

「歩行者、自転車利用者に対するもの」
無理しない 用心深さも 年の功

「子どもからの募集」
かあさんが、出がけに言っていた「気をつけて！」

天高く風あがる

大代地区子ども会育成連合会

去る一月八月（日）大代地区公民館主催の凧作り教室が開催され、「仙台風の会」の方々の御指導を受け約七十名の親子が参加しました。どの親子も竹ひごと和紙を使った「スルメてんばた」「駿河凧」作りは、始めてでしたが思い思いの絵柄を描きりっぱな凧が出来上がりました。

また、一月十五日（日）には、緩衝緑地公園にて当連合会主催の凧上げ大会を行いました。当日は、凧上げに絶好の風力があり、子ども達が持ち寄ったどの凧も天高く舞い上がり、正月ならではの光景でした。

その後、参加者全員（六十名）で大きな「とん汁」の釜を囲み楽しいひとときを過ごすことができました。

二月分

大代地区子ども会育成会

体育室使用日程

■大代東、南

四日（土）・十八日（土）

■大代西

七日（火）・二十一日（火）

「短歌」

本郷貞子

しほむまで匂い水仙濃く匂ふ
雪なき今日をクリスマススイブ

もらい柚子一つ浮かべて孫と入る

湯の清々し欲無く生きむ

跡辺文江

争ひの絶えぬ地球よ十日月は
女の面輪に似てうら哀し

もくれんの幹に耳当つ春早く

花もつものの鼓動を聞かん

「川柳」

高橋 操

古里へ夢がゆれてる寝台車

阿部うめよ

實家からカボチャが届く冬至鍋

星 繁子

父と子がにぎる手の中 散歩道

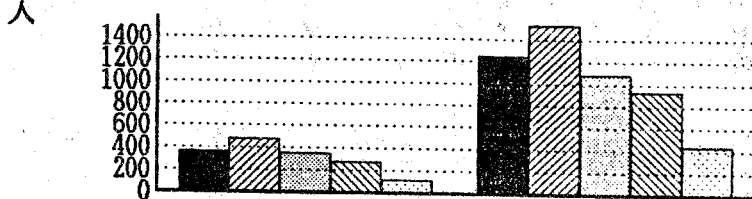
本郷ひさ

不養生冬至かぼちゃの重い腰



大代地区人口統計表
平成6年12月31日現在

■大代東 ■大代南 ■大代中 ■大代西 □大代北



	世帯数	人口
大代東	365	1255
大代南	480	1535
大代中	357	1088
大代西	281	936
大代北	123	444

大代地区住民総数 5,258人